

【府民に提供するサービスその他の業務の質の向上】

1 高度専門医療の提供及び医療水準の向上

<p>高度専門医療にかかる診療機能の充実</p> <p>【急性期・総合医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SCU、CCUの本格運用に向けた整備・運用 <ul style="list-style-type: none"> 整備工事(SCU 6床新設 CCU 2床増設) 19年3月竣工予定 30床の救命救急C運用開始(19年4月) 新入院患者数(4~12月) SCU 92人、CCU 228人 ・身体障害者福祉センター附属病院との統合に向けた施設改修等 <ul style="list-style-type: none"> 病棟改修工事(19年1月竣工)、歯科口腔外来・障害者歯科外来改修工事(19年3~7月予定) 身障Cスタッフを交えた院内WGで、看護体制など統合に係る諸課題を整理・対応中 <p>【呼吸器・アレルギー医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たばこ病外来、禁煙外来の設置(18年6月) <ul style="list-style-type: none"> (たばこ) 第1~第4月曜日の午後診療、受診者数(12月末)42人(初診22人) (禁煙) 第1~第3火曜日及び第1~第4金曜日の午後診療(18年12月~月4回 6回) 受診者数(12月末)54人(初診20人) ・臨床研究部の設置(18年4月) <ul style="list-style-type: none"> 各研究室については、現在臨床研究部整備委員会で検討中 <p>【精神医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再編整備について22年度完成を目指しPFI法に基づく手続に着手 <ul style="list-style-type: none"> 実施方針、要求水準書案の公表(10月)、特定事業の選定(19年2月予定)、 入札公告・入札説明書等の公表(19年3月予定) ・確定診断待機患児対策として自閉症児に対する外来診療体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> 医師確保(4月常1人・9月非1人)と心理テスト室の改良等、確定診断(4~12月)206人(去年同期)177人 <p>【成人病センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難治性がん患者に対する手術件数の増加 <ul style="list-style-type: none"> 手術件数(4~12月)650件(去年同期)568件 ・都道府県がん診療連携拠点病院の指定(18年10月厚生労働省申請、19年1月同省指定) <ul style="list-style-type: none"> 患者相談支援機能や地域医療機関との連携・情報提供について整備・充実 <p>【母子保健総合医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪南医療Cとの連携による手術体制の拡充 <ul style="list-style-type: none"> 18年12月~日帰り手術開始(12月2件)、手術件数(4~12月)2,644件(去年同期)2,505件 ・ホスピタルプレイスペシャリストによる療養支援の推進 <ul style="list-style-type: none"> 資格者1人採用(18年4月)、遊びを通した子どもの不安解消等の心理サポート、職員への知識等の普及・研修
--

2 患者・府民サービスの一層の向上

<p>他病院と比較可能な患者満足度調査の実施等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚労省の関係団体が実施する「病院顧客満足度調査」に5病院が参加 <ul style="list-style-type: none"> 10月 調査実施 調査票回収状況(5病院計: 入院調査1,641件・外来調査3,593件・職員調査2,416件) ・10月を「患者サービス向上月間」として、各病院で重点取組を実施 <p>成人病センターにおけるCT、MRIの土曜日検査の実施 (CT 18年9月16日~、MRI 19年3月実施予定)</p> <p>呼吸器・アレルギー医療センターにおける午後診療の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たばこ病外来(18年6月~)、禁煙外来(18年6月~)、産科超音波外来(19年3月実施予定) <p>精神医療センターにおける訪問看護の実施 (訪問看護4~12月2,583回、去年同期2,265回)</p> <p>急性期・総合医療センターにおける院内施設の改善(ユニット型簡易個室の導入 8月)</p> <p>診療料のクレジットカード支払い、コンビニエンス・ストア及び郵便局での支払いの開始(4月)</p> <p>母子保健総合医療センターにおけるクリニック라운ジの受入充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入状況:(4~12月)2病棟、活動状況:毎週水曜日、(4~12月)延110人

3 より安心して信頼できる質の高い医療の提供

<p>医療安全対策の徹底 医療事故等の情報交換・共有、感染原因ごとのマニュアル整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専任の医療安全管理者の設置、5病院医療安全管理者連絡会議による医療事故等情報交換・共有(18年4月~) ・医療安全管理者連絡会主催による医療従事者向け5病院合同研修会の開催(19年1月30日) <p>クリニカルパスの作成及び適用による医療の標準化・最適化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパス適用率 ()は去年同期 (4~12月)急性期72.1(65.3)%,呼吸器26.4(21.7)%,成人病57.3(49.5)%,母子21.3(17.9)% <p>インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セカンドオピニオン制度の見直し(18年12月) <p>診療情報の適正な管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個人情報の取扱及び管理に関する規程」や「カルテ等の診療情報の提供に関する規程」を策定 <p>急性期・総合医療センターにおける電子カルテシステムの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19年度稼働に向け部門別ワーキングで検討中。その他の病院も順次導入に向け検討
--

4 府域の医療水準の向上への貢献

<p>地域医療との連携 ()内は去年同期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介率(4~12月) 急性57.1(52.6)%呼吸49.4(47.9)%精神32.1(37.0)%成人83.9(71.5)%母子75.0(72.9)% ・逆紹介率(4~12月)急性42.1(39.0)%呼吸39.4(43.9)%精神28.1(28.7)%成人85.7(66.8)%母子12.2(14.0)% <p>成人病センターにおける内視鏡教育研修センターでの教育研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月開設、他病院から研修生受入(4~12月)2人、院内5人(計7名枠) <p>母子保健医療センターにおける周産期・小児専門医資格取得のためのレジデントコースの新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月開設、2人受入(平成22年度9人) <p>高度医療機器の共同利用 ()内は去年同期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同利用件数 急性期(4~12月) MRI 106(102)件、CT 88(77)件、RI 25(14)件 呼吸器(4~12月) MRI 36()件、CT 60(38)件、RI 70(50)件 <p>急性期・総合医療センターにおける開放病床の利用等の促進 ()内は去年同期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況 登録医届出数(4~12月)375件(280件)、利用患者数(4~12月)79件(56件) <p>公開講座等による保健医療情報の提供・発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人本部に広報委員会(委員長:副理事長)を設置(18年5月) ・5病院合同の公開講座 開催予定日 19年2月8日 テーマ「子どもからはじまるメタボリックシンドローム」

【業務運営の改善及び効率化】

1 運営管理体制の確立

<p>医療及び経営に取り組む運営体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回理事会、事務局長会議、副院長会議、経営会議(18年6月~)、看護部長会議(隔月)を開催 ・企画調整機能として、本部事務局に総務部門と経営企画部門を設置 <p>年度計画を推進するための各病院実施計画の作成</p>

2 効率的・効果的な業務運営

<p>効率化の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務部門の再構築(ITによる集約化、アウトソーシング等)によるスリムで効率的な業務執行体制 <p>収入確保の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬請求精度調査の実施、病病・病診連携等による患者数確保、高度専門医療提供による診療単価の向上 <p>経費節減の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SPDシステム導入による材料費の削減、ESCO事業の活用による光熱水費の節減、後発医薬品の採用促進
